

フィージビリティスタディ

～平成20年度

普及ツール整備(実務のための指針、計画事例、実験研究結果など)

平成21年度

普及展開

震度7クラス弾性
構造導入

建築用途を設定し、新技術を導入した
フィージビリティスタディの実施

建築供給
の担い手に
公開・広報

鋼構造建築の普及
安全・安心な

大地震等に対して
損傷なし

耐久性低下、
劣化がない

資産価値の
保全

多様な空間性
能を提供

良質な
景観形成

法、政令、基規
準に適合



地域防災拠点機能を有する高性能庁舎ビル



超長期集合住宅



高度な情報・防災機能を備えたコミュニティセンター



都心周辺部に建つ、高耐震中高層オフィスビル



都心等の再開発、高密度地域の複合用途超高層ビル

行政・ユーザー

事業主体

企画・計画

設計・施工

関連産業

社会的資産を形成
省資源で長寿命な

10

アンボンド制振ブレース付き・ラーメン構造の実大実証実験

構造種別 :

アンボンド制振ブレース付き
ラーメン構造

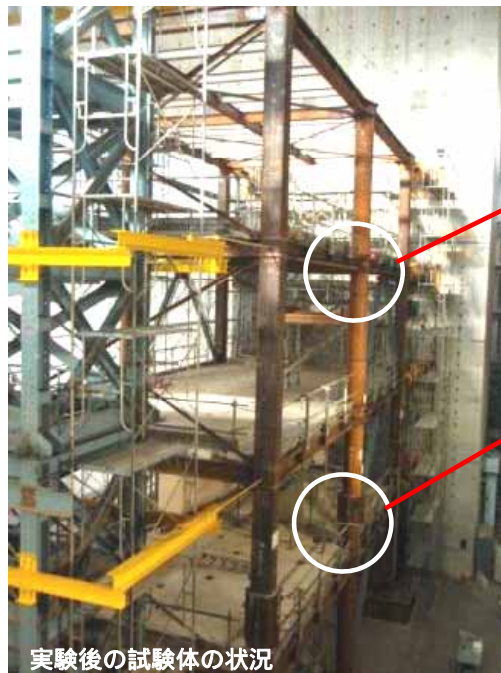
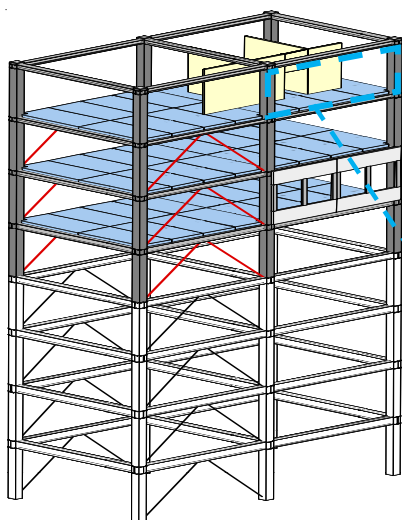
建築面積 : 98.0m²

(長辺14.0m×短辺7.0m)

延床面積(4階分) : 392.0m²

建物高さ : 約16.0m

階数 : 地上8階建の上部4階



実験後の試験体の状況



柱・はり・リングソケットの状況
(無損傷)



間仕切壁

制振ブレース

リングソケット

フルPcaスラブ

<6F概要>

震度7相当の地震に対し、柱、梁、床などの主要構造部材の無損傷を確認した。ダンパーは設計通り地震エネルギーを吸収し、解析との整合性を確認した。